

認定看護師等による出前研修 受講アンケート調査結果

令和7年2月20日（木）14:30～15:30

ケアハウス常心の里

研修メニュー：摂食・嚥下障害看護

1 あなたの職種は？

職種	人数
看護師	1
介護職	8
その他	0
計	9

2 研修内容は？

満足度	人数
満足できた	7
まあまあ満足できた	2
満足できなかった	0

※もっと聞きたいことがあったようです

理解度	人数
理解できた	9
まあまあ理解できた	0
理解できなかった	0

役立ち度	人数
役立つ	9
役立たない	0
わからない	0

3 今後、学びたい研修は？

（複数回答あり）

テーマ	人数
感染管理	3
皮膚・排泄ケア	1
摂食・嚥下障害看護	1
認知症看護	6
緩和ケア	6
救急看護	3
その他	4

※その他

（環境整備、5S活動、ポジショニング、
体位交換・クッション活用、終末期ケア）

◆受講者の主な意見、感想など◆

○研修内容

- ・食事前の口腔体操やジェルを用いたマッサージが良いことだと学んだ。毎日の口腔ケアが大切である。
- ・基本的なケアも含めてわかりやすかった。振り返りができた。食事前の口の中の環境を整えることの大切さを再認識できた。
- ・知らなかったことがたくさんあった。K-Point、飲み込み時の無呼吸、赤ちゃんミルク飲みは呼吸しながらなど、改めて勉強になった。
- ・誤嚥のメカニズムと対策、気管と食道の構造など専門的なことについてたくさん学べてよかった。
- ・食事介助や痰をとるモアブラシなど、入居者に役立つものが多くて身近に感じた。スポンジブラシしか使用していなかったので、くるりなブラシも使ってみたい。
- ・口腔ケア時の最初の唇保湿は行っていなかったので実践していきたい。口腔内の保湿の大切さも学んだ。
- ・食事の介助方法、口から食べることの重要な意味など学ぶことができてよかった。嚥下の意味、接し方についても、口腔ケアがいかに大切か学ぶことができた。
- ・誤嚥するタイミングが、前・中・後と3パターンあることに驚いた。
- ・保湿ジェルを実際につけ合う演習をやってみてよかった。とろみも詳しく学べて参考になった。

○その他意見、要望等

- ・認知症の方の食事、口腔ケアを嫌がる、口を開けない利用者への対応など、解決が難しいと思った。
- ・食事援助は毎日あるので大変役に立った。資料がカラーで見やすいし理解もできた。
- ・繰り返しの勉強は大切。定期的に学べたら良いと思う。出前研修をもっとやって欲しい。側臥位での食事介助方法を学んでみたい。
- ・食べることは生きること、いつまでも食べる楽しみを失わせないようにしたい。口を開けない利用者の場合、信頼関係が大切で心のケアも考える、一番大切な答えをもらったと思う。

◆受講報告書（代表者）◆

ケアをするうえで根拠がわかることは大切なので、解剖的な内容も交えていただきとても良かったです。実際の物品を見たり、軟膏を塗り合ったり、普段できないことで理解が深まりました。